

2025 年 12 月期 第 1 四半期決算説明会 質疑応答の要約

2025 年 5 月 15 日に開催した決算説明会において、参加者の皆様から頂いたご質問をまとめたものです。GMO インターネット 代表取締役 社長執行役員の伊藤より回答させていただきました。なお、一部 IR 部門にてご質問および回答を付記・補足しております。

【GMO GPU クラウド関連】

【Q1】 GMO GPU クラウドの状況について、現在の会社の想定に対しどのような状況か教えてください。

【A1】 今のところ当初の目標に対し想定通りに進んでいます。その 1 つの証左として、追加投資できるところまでお客様の獲得が進み、順調に進捗していると考えております。

まだサービスが始まって半年程度となりますので、さらにお客様の声をお聴きして、より良いサービスの構築に努めてまいります。

【Q2】 GMO GPU クラウドについて、景気の悪化により、お客様のニーズに変化はあるのでしょうか。

【A2】 現時点では、景気の悪化や関税による影響は受けていないと認識しています。生成 AI の活用は、過去インターネットが普及してきた時と同じように世の中において活用が進んでおり、各企業様においても、GPU クラウド利用の検討を継続的に考えられている、という話は伺っており、高いニーズが見込まれると認識をしています。よって、現時点では景気悪化などの影響によりニーズに変動はないと考えております。

【Q3】 GMO GPU クラウドについて、どのような業界から、どのような目的での引き合いがあるのか、具体的に教えてください。

【A3】 おもに製造業のお客様を中心とした引き合いが多くなっています。決算説明会でも触れている AI ロボット協会様、チューリング様、日本電気様といった会社様があります。例えば、ロボットと GPU の相性は非常に良いため、今後ロボット分野での活用が一層進んでいくものと思います。また、自動車業界を中心に GPU への投資が進んでおりますので、チューリング様のような自動運転を開発している企業様においても今後さらに活用が進んでいくと考えています。

また、特に製造業のなかでも、高い計算能力が必要とされるお客様に受け容れられる高性能なサービスを目指して今回開発をしてみいましたので、そういったニーズに応えられている状況と認識をしています。こうした分野向けへ今後さらに注力していきたいと思っています。

【GMO インターネットグループ関連】

【Q4】 GMO インターネットグループでは、セキュリティサービス強化や先日「.貴社名」のようリリースをしているが、こうした内容と GMO インターネット株式会社とのシナジーを教えてください。

※参考：「. 貴社名」に関するプレスリリース

<https://group.gmo/news/article/9499/>

【A4】 決算説明会資料の P12 にも記載がありますが、我々はドメインやレンタルサーバーのお客様に対し、「ネット de 診断」という脆弱性診断を行うサービスを提供しています。

我々のお客様はいろいろな分野のお客様がいらっしゃいますが、いわゆる SMB と言われる、中堅中小企業のお客様も多くいらっしゃいます。そうしたお客様がセキュリティに関して昨今のニュースを見るなどして課題感を持たれた際に、何から手をつけていいのかわからない、というお声をよく聞きます。

そうしたお客様が我々のドメインやレンタルサーバーのサービスを申し込んでいただければ、ボタン一つでセキュリティに関する状況が診断できるようなサービスを提供しています。多くの方にセキュリティの対策を取っていただけるきっかけができたと考えています。

我々はドメインやレンタルサーバーというインターネットのインフラを支えている会社ですので、多くの方に安心安全なインターネットをお届けできることには非常に価値があると思います。これは我々のグループならではのサービスであると考えていますので、差別化要因になると思っております。

また、「.貴社名」ですが、こちらについては、我々はお名前.com を中心にドメインのサービスを展開しておりドメインにニーズのある方も身近な存在ですので、「.貴社名」を取得したほうがよいお客様には適切にご案内をして、ぜひ取得に繋げて頂ければと考えています。

今回 10 年振りに登録ができるサービスになり、次回はいつ登録の機会があるか不透明なため、適切にご案内のうえ、お客様に届けて行きたいと思っています。

【仲間づくり(M&A)関連】

【Q5】 今後の仲間づくり（M&A）に関する方針を教えてください。

【A5】 既存事業においては、ドメインなど、岩盤ストック収益を有し、近しい事業を行っている会社様とご一緒することでシェアを拡大していく、ということを考えています。

ストック型商品の強化にあたっては、高い商品力を持つが販売に困っている会社様や、我々の商品とバンドルすると効果的に販売ができる商品を持っている会社様がよいと思

います。

グループ内の組織再編に関しては、今回 Z.com 海外インフラ 11 社の株式取得を実施したが、現在 GMO インターネットグループ株式会社が持株会社体制になり、新しい組織体制を模索している段階であり、我々も新しい組織体制としてこの 1 月から出発したところです。今後もグループ内での組織再編やご一緒することで双方の成長に繋がる・効率化ができる会社と、ぜひ一緒に取り組んでいきたいと思っています。

【株主還元関連】

【Q6】 2025-2026 年の配当性向は 100%とのことですが、それ以降の配当性向に関する考え方をお聞かせください。

【A6】 現在、基本配当性向を 65%としておりますので、現時点においては、2027 年以降についても配当性向 65%として考えております。
(伊藤)

以上